

国立大学法人大分大学長の業績評価について

国立大学法人大分大学学長選考・監察会議規則（平成16年規則第10号）及び国立大学法人大分大学長の業績評価に関する申合せ（平成28年3月24日 国立大学法人大分大学学長選考会議）に基づき、下記のとおり国立大学法人大分大学長の業績評価を実施したので、同申合せ第4の規定により公表します。

令和7年(2025年)1月28日

国立大学法人大分大学学長選考・監察会議
議長 杉原正晴

記

- 1 学長氏名 北野正剛
- 2 評価対象期間 令和5年(2023年)10月1日～令和6年(2024年)9月30日
- 3 評価結果 学長は大学運営・経営について適切に遂行していると判断する。
- 4 確認状況

学長選考・監察会議は、国立大学法人大分大学長の業績評価に関する申合せ（平成28年3月24日 国立大学法人大分大学学長選考会議）に基づき、自己評価書等を参考とした上で、学長との面談を実施し、業務執行状況の確認を行った。

主な確認項目は以下のとおりである。

【学長としての重点的取組事項】

重点的取組事項として、人事院勧告への対応等教職員の処遇改善に努めたことを確認した。

【大学運営に関すること】

DX人材育成にかかる全学的な方向性、若年人口減少の中での入学志願者の拡大に向けた考え方、改組などの取組により時代や地域・産業界が求める大学の在り方について確認した。

【教育に関すること】

教育学部が全国的にも高い就職率を維持する取組や大学としての就職につながる支援、国際的能力・外国語運用力の育成について確認した。

【研究に関すること】

若手研究者の研究力向上へ向けた支援等について確認した。

【管理運営に関すること】

授業料の引上等を含めた大学の財政確保のための施策、ガバナンス改革の定着について確認した。

【地域貢献に関すること】

県の施策との連携や本学における貢献について確認した。

【その他（（1）医療・福祉、（2）国際化・国際協力）に関すること】

コロナ禍を経た附属病院の稼働状況、病院スタッフの確保、大分大学の持続的な財源確保等について確認した。

5 付帯意見

急速な少子化の進行や国際情勢の不安定化、教育・研究の国際競争力の低下等、大学を取り巻く環境が大きく変化していく中で、志願者数の停滞、引き続く運営費交付金の削減、光熱水費を含む物価の高騰など、国立大学法人の経営環境はより一層厳しくなっている。一方で、人材育成や多様化する地域課題の解決など幅広い観点での貢献が期待されており、これらの社会変化に柔軟に対応しながら、「地（知）の拠点」としての役割を果たし続けることが重要である。

「改革なければ明日はない」の信念の下、これまで行ってきた取組をしっかりと結実させ、更なる大学改革に邁進するとともに、引き続き、リーダーシップを的確に発揮し、教職員と一致協力しつつ、さらに地方自治体、地域の企業や医療機関及び他大学等とこれまで以上に連携しながら、より一層ステークホルダーの信頼を得られるよう、大分大学を発展させていくことを期待する。

6 経 緯

（1）令和6年度(2024年度)第1回学長選考・監察会議（令和6年(2024年)6月19日）

令和6年度に実施する学長の業績評価にかかるスケジュール案について確認を行った。併せて、学長の業務執行状況を確認するに当たっての参考資料（平成28年3月24日付け国立大学法人大分大学長の業績評価に関する申合せ第3の2項）の見直しを行った。

（2）令和6年度(2024年度)第2回学長選考・監察会議（令和6年(2024年)9月25日）

学長の業績評価にかかる当日の流れ及び結果の公表方法等について確認を行った。併せて、学長の業務執行状況を確認するに当たっての参考資料のうち、学長選考・監察会議が必要と認める資料（平成28年3月24日付け国立大学法人大分大学長の業績評価に関する申合せ第3の2項（4））を確認した。

（3）令和6年(2024年)10月中旬

学長に自己評価書の提出を依頼した。

（4）令和6年(2024年)12月中旬

学長から提出された「自己評価書」を含む（2）で確認した参考資料について、学長選考・監察会議委員に送付し、確認を願った。

（5）令和6年度(2024年度)第3回学長選考・監察会議（令和7年(2025年)1月28日）

学長との面談を実施し、評価結果を取りまとめた。

また、会議終了後、議長から学長へ通知した。